
かごしまの未来を創る現場人応援事業

建設業で役立つパソコン・デジタル研修

～ デジタル対応研修 ～

<LINE などの SNS 操作に馴染む>

鹿 児 島 県

監修 ヒロ T & T 株式会社

はじめに

世界的なコロナ禍の中で、さまざまな努力が行われています。しかし、インバウンドだけでなく国内客も旅行を自粛する中でホテル、観光バスを始めとした観光産業や、飲食業等も会社の休業だけでなく、廃業や失業を含めて、大きな影響を受けています。

このような産業で働く人たちの、公共事業などの比較的需要が堅調な建設産業で、一時的な出向や副業さらに長期的な勤務ができるように、建設産業の基礎的理解を高める研修を行います。

語句の定義

- ① 建設ワークシェアリング： 分業できる作業を補助員(アシスタント)に任せることで、社員が主業務に集中でき、その結果、社員の能力向上に寄与するものです。
- ② 建設現場アシスタント： 技術職員の補助を行う「業務アシスタント」と事務系職員(経理、総務、営業等)の補助を行う「事務アシスタント」
- ③ 教育指導者： 建設会社で各社員が建設業務・事務アシスタントをOJTする際の指導やOJT環境を整える担当者

令和3年3月22日

かごしまの未来を創る現場人応援事業事務局



目 次

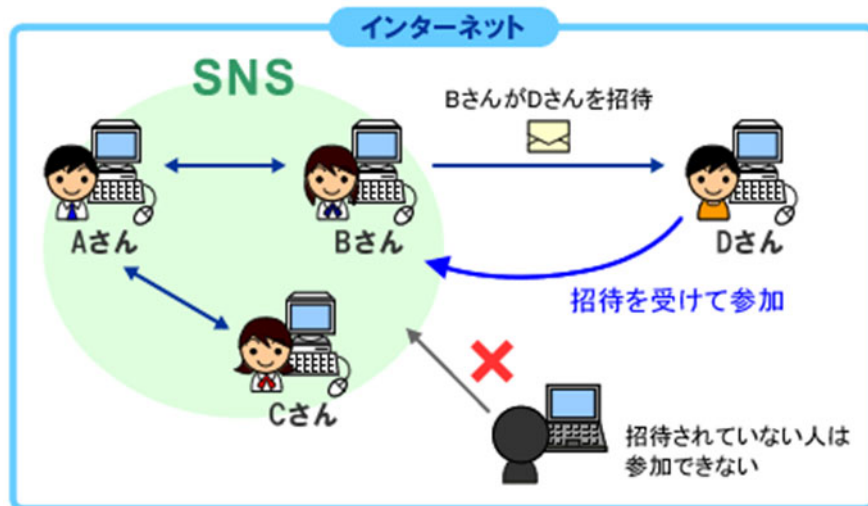
1. ソーシャルネットワーキングサービスを活用したコミュニケーション「情報の共有」.....	3
(1) ソーシャルネットワーキングサービス	3
(2) 代表的な SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)	3
(3) ソーシャルネットワーキングサービスでできること	4
2. 指タップ動作一覧	5
3. LINE.....	5
(1) LINE アプリ	5
(2) LINE のインストール	6
(3) LINE アカウントの新規登録 (電話番号の登録)	6
(5) 自動で友だち (メンバー) の追加しない場合	8
(6) LINE ホーム画面	8
4. LINE のトーク.....	9
(1) トーク画面	9
(2) トークの開始	9
(3) メッセージを入力	10
(4) メッセージ受信の通知と削除と取り消し	10
5. LINE のグループ.....	10
(1) グループへ参加メンバーの招待	11
(2) グループトーク	12
(4) オフィス系ファイルの場合	14
(5) グループへ友だち追加	15
6. 補 足	16
(1) 無料通話	16
(2) LINE のプライバシー設定	16
(3) 友だちのブロック	16
7. パソコン版 LINE (WINDOWS)	17
(1) WINDOWS 版をダウンロードする	17
(2) PC 版 LINE のログイン方法	18
8. ビジネスチャット.....	19
(1) ビジネスチャットが共通して備えている基本機能	19
(2) おもなビジネスチャット	19

1. ソーシャルネットワーキングサービスを活用したコミュニケーション「情報の共有」

(1) ソーシャルネットワーキングサービス

1) ソーシャルネットワーキングサービス SNS 【 Social Networking Service 】

SNS は、ソーシャルネットワーキングサービス(Social Networking Service)の略で、登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービスのことで、友人同士や、会社や同じ組織の同士が集まった、利用者間のコミュニケーションを可能にしています。



招待制のSNSの場合

「総務省 国民のための情報セキュリティサイト」より

(2) 代表的な SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)

Facebook(フェイスブック)

たくさんの写真やブログのような長文まで自由に投稿できるサービスで、基本的に本名(実名)での登録を義務化しています。また実名や学歴、職歴がプロフィールに表示されるため、直接交流のある知人と交流する際に利用しやすいサービスです。

LINE(ライン)

メッセージのやりとりや、電話のような通話が無料で楽しめるサービス
登録にはケータイ番号が必要なので複数アカウントを取得することが難しく、
家族や友人といった比較的親しい間柄でのコミュニケーションに利用される。

Twitter(ツイッター)

様々なユーザーと140文字以内の文字制限の投稿で交流出来るサービス
他人のつぶやきをコピー・転載できるリツイートという機能があり、情報が拡散する
という特徴を持っていて、拡散が炎上という現象を起こしてしまう

Instagram(インスタグラム)

写真や動画を主体にしているサービス
テキスト中心だった時代とは違う、流行に敏感な20代~30代の女性新しいユーザー
を中心に急速に利用が広がっている。

インスタライブとは、インスタグラムの機能で、事前に録画や撮影したものでなく、リアルタイムで今していることを手軽に発信することができます。

(3) ソーシャルネットワーキングサービスでできること

① プロフィール作成・公開

名前(本名もしくは仮名)・年齢・生年月日・性別・居住地域(都道府県)・出身地・学歴・職歴・趣味や所属団体など、自身でアピールしたいことを公開しプロフィールを作成します。

特に Facebook がこのプロフィール機能に力を入れています。

② 文章の公開

SNS ではブログのような長文日記ではなく、短文でライトな話題を公開する傾向が強く、“他人の投稿をコピーするだけ”の Twitter のリツイート機能は、能動的な主義主張を全く含まず、拡散すること(情報を広めること)を目的とした新しい機能

③ コメントを付ける

他人の文章や写真に対してコメント(感想)を付けることができます。「いいねボタン」の登場により、ブログ時代と違って簡略化・短縮化される傾向にあり、その投稿を見た人の人数を数える

④ 写真を公開する

スマートフォンやモバイル通信の普及により、誰もが日常的に写真を撮り気軽に投稿できる。特に写真の投稿に特化したインスタグラムの登場によって撮影した写真をそのまま投稿するのではなく、より見栄えのよい美しい写真を作る方向へシフトしてきています。

⑤ グループを作る

共通の趣味や目的を持った人たちとグループを作り、共同で作業をしたりできます。

最近ではビジネスでの利用のしやすい Facebook や LINE で活動が活発になっています。

⑥ 個人間でのメッセージ

第三者に見られることなく、個人間でのメッセージを送ることができます。Twitter では DM(ダイレクトメッセージ)と呼ばれ、メールの代用として使われることが多くなっています。

⑦ 友人を紹介する

SNS では友人のことをフォロワーと呼びます、フォロワーのリストは基本的に第三者にも公開されています。この機能のおかげで友人の友人と繋がりがやすくなっていて、効率的に人脈を広げることが可能です。

1) ソーシャルネットワーキングサービスと電子メールの違い

インターネット上の連絡手段の一つとしてメールがありますが、メールの場合は一定の情報量をやり取りする事においてはビジネスなどでは便利な反面、文字を主体とすることが多くメールアドレスを知らないとやり取りができない。

SNS サービスは投稿に対してリアクションがしやすかったりするなど、会話に近い感覚でテンポよくやり取りができる。

2) メッセンジャーアプリケーション

ソーシャルネットワーキングサービスのアプリケーションとしてリアルタイムでのメッセージのやり取りや、相手の接続状態に関係なく、メッセージを送ることができる。

3) チャット

短い文章を頻繁にやりとりする、感覚的には会話に似ている。グループでも 1 対 1 でも双方が移動体通信網などにより常時接続インターネットを介してリアルタイムに会話をすることができる。

2. 指タップ動作一覧

名称と操作方法

iPhone や Android などのスマートフォンでよく使われる操作と、その名称

動作名	操作方法
タップ	画面を指先で1回叩く
ダブルタップ	画面を指先で2回叩く
ロングタップ,長押し	画面を指先で長く押す
フリック	画面に触れ、その指先を素早く払う
上フリック	上に向かってフリック
右フリック	右に向かってフリック
左フリック	左に向かってフリック
下フリック	下に向かってフリック
スワイプ	画面に触れ、その指先をスライドさせる
ピンチ	2本の指（親指と人差し指）でつまむように操作すること
ピンチイン	2本の指の間隔を狭める
ピンチアウト	2本の指の間隔を広くする
マルチタッチ,マルチタップ	同時に2本以上の指で操作すること

タップ :スマートフォンの画面を指先で軽くタッチすること

フリック:画面上で指を素早く動かす操作のこと

スワイプ:画面を指で押して特定の方向へ「掃くように動かす」こと

3. LINE

(1)Line アプリ

1対1や複数人でグループを作ってメッセージをやり取りできる「トーク」の他に、「ホーム」と「タイムライン」という SNS 機能が備わっている。

ホーム

Twitter のように写真やつぶやきを公開することができ、公開範囲を「全体に公開」に設定することで、「友だちの友だち」やさらにその先の「友だち」にまで投稿が広まっていく可能性があるため、使い方によっては「情報の拡散」が起きる。

タイムライン

「タイムライン」には「友だちの投稿」や「公式アカウント」からのお知らせが時系列(新しい順)に並び、ホームと同じように「全体に公開」設定ができる

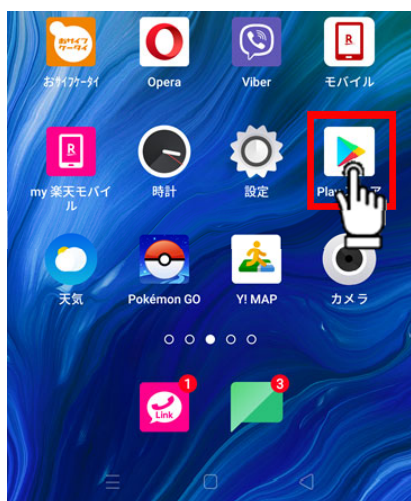
トーク

インターネット接続可能環境さえあれば、無料でメッセージの送受信(トーク)や通話ができる、国内外問わずどこにいても LINE でつながっている相手(友だち)と連絡がとれる。

通常時はもとより、災害などの緊急時にも欠かせないツールで、「既読」機能は、“メッセージを読んでいる”ということが相手にわかるため、安否確認としての役割も果たせる。

(2) Line のインストール

1. まずは、ホーム画面から Google Play を開きます。



2. Google Play の画面上部にある検索窓に「LINE (line) 」もしくは「ライン」と入力し、検索

3. 「インストール」をタップして LINE アプリをダウンロードする

検索結果のトップに LINE アプリが表示されるので、インストールをタップしてください。ダウンロード後、そのまま自動的にインストールが実行されます。

ダウンロードの途中で止めなくなったときは、キャンセルを選択すれば OK です。

LINE アプリのダウンロードとインストールが正常に終了したら、開くボタンが表示されます。また、ホーム画面にも LINE アプリのアイコンが追加されています。

ホーム画面などに追加された LINE アプリ



のアイコンをタップしても LINE アプリの起動は

可能です。

(3) LINE アカウントの新規登録（電話番号の登録）

LINE がスマートフォンにインストールされたら、LINE アカウントの登録をします。

LINE は電話番号に紐づけて利用登録をおこなうので、アカウントの新規作成には携帯電話番号が必要です。

LINE アイコンをタップして LINE アプリを起動します。「LINE へようこそ」の画面で「新規登録」を選択すると、電話番号の入力画面が表示されます。

スマートフォンの電話番号を入力し、 → ボタンをタップして次に進んでください。

SMS で認証番号を送りますか？」と確認されたら、送信をタップします。

入力した電話番号宛てに、ショートメッセージサービス (SMS) で認証番号が送られてきます。SMS が届かない場合は、画面の指示に従って認証番号の再送をタップするか、通話による認証から電話で認証番号を取得することも可能です。

LINE の画面へ戻り、送られてきた認証番号を入力してください。

続いて、アカウント名 (LINE 上での名前) を入力。フルネームはもちろん、名字のみやあだ名、ア

ルファベット表記など自由に設定できますが、フルネームを入力してください。ここで設定したアカウント名は、あとから簡単に変更可能です。

- ①「この端末の電話番号を入力」画面が表示され、赤い四角の箇所に、自動的にスマートフォンの電話番号が入力されますので、矢印マークを指でタップ(指先で画面を1回叩く)します。番号が自動入力されない場合は、手動で入力します。
- ②「上記の電話番号にSMS(スマートフォンのショートメール)で認証番号をおくります。」「OK」を指でタップ(指先で画面を1回叩く)します。(スマートフォンのショートメールに認証番号が送られてきます。)

そのままにしていると、自動的に認証番号が入力され、「アカウントを新規登録」が表示される。

- ①「アカウントを新規登録」で、LINE 上で表示される名前を入力します。後で変更も可能です。
- ②アカウント名の入力が終わりましたら、矢印マークを指でタップします。
- ③パスワードを登録画面が表示されますので、任意のパスワードを半角英数と半角数字の両方を含む半角6文字以上で登録します。上段と下段で同じパスワードを入力し、次へ進みます。このパスワードは、スマートフォンの機種変更時にアカウントを引き継ぐ場合に必要です。また、PC(パソコン)版LINEに同じアカウントでログインするときや、LINEストアの利用時にも使います。
設定したLINEのパスワードを確認することはできません。必ずメモをとって、保存してください。
- ④右側の目のマークを指でタップ(指先で画面を1回叩く)しますと、入力した文字が表示されます。条件に合わないときはエラーメッセージが表示されます。
- ⑤矢印マークをタップします。

※ログイン済みの状態でのみLINEパスワードを再設定することができます。

LINEに正常にログインできている状態であれば、パスワードは簡単に変更できます。

「ホーム」タブの設定ボタンからアカウント→パスワードと進みます。

本人認証(iOS版ならFace IDやTouch ID、Android版なら指紋認証またはPINコード入力など)をおこない、新しいパスワードを入力して変更をタップすれば完了です。

(4) 友だち(メンバー)の追加

友だち自動追加: 端末のアドレス帳(電話番号)の情報から、該当するLINE友だち(すでにLINEを使っている人)を自動的に追加する機能

友だちへの追加を許可: あなたの連絡先(電話番号)を端末のアドレス帳に登録している相手がLINEで「友だち自動追加」設定をオンにしている場合、相手側にあなたのLINEアカウントが自動追加される機能

友だちの追加設定 LINE 上に表示される友だち(メンバー)自動追加が行えます。友だちの追加は後でも行えます。

※友だち自動追加の対象となる条件

端末側でアドレス帳へのLINEアプリのアクセスを許可している

LINEアプリで「友だちへの追加を許可」設定をオンにしている

アドレス帳に登録された電話番号とLINEに登録された電話番号が一致している

アドレス帳に登録されている人物を一方向的にLINEの友達に自動追加すると、同時に相手のLINE上に「知り合いかも?」の該当者としてあなたのプロフィール名やアイコンが表示されます。

特定の相手だけを友だち自動追加させない方法

A:アドレス帳の登録名の前に「#」を追記すると、友だち自動追加の対象から外せます
最後に「サービス向上のための情報利用に関するお願い」が表示されます。目を通して問題なければ同意する、気がかりなことがあれば同意しないを選択します。

なお、ここで同意しないを選択しても LINE は利用できます。

次に、この端末の位置情報へのアクセスをLINEに許可しますかと表示されるので「許可」をタップします。自動でデータの同期が始まります。

「友だちを連絡先に追加」で「追加する」タップ

これで、LINEアカウントの作成は完了です。自分のLINEに友だちのアカウントを追加していけば、その相手と無料通話やメッセージ送受信が使えるようになります。

(5) 自動で友だち(メンバー)の追加しない場合

友だちの追加設定画面で

①「友だち自動追加」、「友だちへの追加の許可」項目のチェックをはずす

②矢印マークを指でタップします。

サービス向上のための情報利用に関するお願い」が表示されます。目を通して問題なければ同意する、気がかりなことがあれば同意しないを選択します。

次に

①「この端末の位置情報へのアクセスをLINEに許可しますか」と表示されるので「許可しない」をタップします。

②「自動で同期が始まる」

③「友だちを連絡先に追加」で「キャンセル」タップ

(6) LINE ホーム画面

Lineホーム画面

①設定

プロフィール・アカウント・プライバシー・トークの設定

②友だち追加

友だちを追加する場合タップ

③検索

友だちの名前や、メッセージ内容の検索

④プロフィール

じぶんの名前、プロフィールなど表示

⑤グループ

タップするとグループを表示

⑥友だち

タップすると友だち一覧を表示

⑦サービス

利用できるサービスの一覧

⑧タブ

切り替えて、トーク・タイムライン・ニュースを表示



10

「タイムライン」とは、自分の近況や知らせたいことなどを、テキストや画像、動画などで LINE の友だちに共有(投稿)できる機能で、タイムラインは、自分や友達・公式アカウントの投稿が見られる「タイムライン」タブと、友だち以外のおすすめ投稿を閲覧できる「ディスカバー」タブに分かれています。

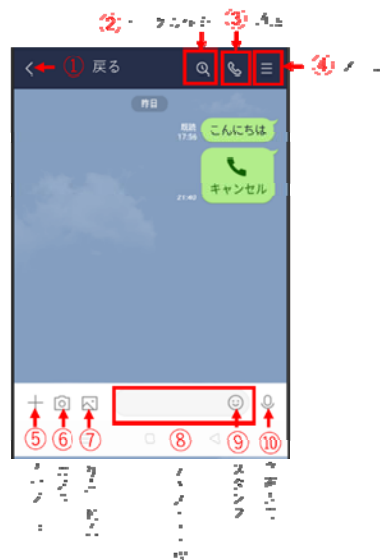
LINE ウォレットタブは、LINE 内でおカネのやり取りを一元化した窓口で、メインとなるモバイル送金・決済サービス「LINE Pay」や「LINE ポイント」「LINE クーポン」のほか「LINE ほけん」「LINE 家計簿」「LINE 証券」などの金融サービスへの入口もあります。

4. LINE のトーク

トークは LINE のメインとなる機能で、友だちと文字を使ったリアルタイムの会話ができます。LINE では、双方のキャリアに関係なく無料で会話ができ、写真を貼り付ける「スタンプ」、画像を送るなど、コミュニケーションをより楽しく演出するさまざまな機能が利用できます。また、3人以上の多人数でのトークも可能で、グループを結成する機能も用意されています。

(1) トーク画面

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① 戻る
トークのメイン画面に戻る</p> <p>③ 通話
音声通話を行うときタップ</p> <p>⑤ 添付メニュー
連絡先・位置情報などのデータを添付</p> <p>⑦ 写真/動画
写真・動画を添付する場合
タップ</p> <p>⑨ スタンプ
タップするとスタンプ・絵文字を表示</p> | <p>② トークの検索
キーワード入力でトークのやり取りから検索</p> <p>④ メニュー
トークルームのメニュー表示</p> <p>⑥ カメラ
タップして撮影</p> <p>⑧ テキスト入力欄
テキストメッセージを入力</p> <p>⑩ 音声入力
タップすると音声入力が可能</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



(2) トークの開始

ホーム画面からトークを選択し、トークをしたい相手の名前を押します。友だちを選択する





(3)メッセージを入力

トークルームに入室したら、画面下部の入力欄からメッセージを入力しましょう。メッセージを入力したら、紙飛行機ボタン(送信ボタン)を押してトークルームに投稿します。

メッセージが投稿され、トークルームの右側に緑色のフキダシで表示されたら、メッセージの送信完了です。

メッセージを相手が見ると、あなた側のフキダシに既読と表示されます

相手側からのメッセージは左側に白いフキダシで表示されています。また表示されている時間は確認した時間ではなく送信された時間です。「」タップでトークに戻る

- ①「送信文を入力」
- ②「」タップで送信
- ③送信相手が送信文を読むと「既読」が表示される。
- ④相手からの送信文表示
- ⑤「」タップでトークに戻る



(4)メッセージ受信の通知と削除と取り消し

通知機能が有効の場合、LINE を起動していなくてもスマホの通知機能で知らせがきます。

※メッセージの修正はできない

LINE では一度送ったメッセージは修正できません。修正したい場合は修正した内容を再度送信してください。また削除機能はありますが、自分の端末の履歴を削除するだけで相手の端末のメッセージは削除できません。

LINE の「送信取消」は、送信して 24 時間以内であれば、相手のトークルームからメッセージを消せる機能で、既読、未読のどちらでも取り消せます。

取り消せるのは、メッセージ、スタンプ、画像、動画、ボイスメッセージ、LINE MUSIC、URL、連絡先、位置情報、ファイル、通話履歴です。

送信を取り消したいメッセージを長押しし、「送信取消」を選択。

確認メッセージが出るので、「送信取消」をタップ、これでメッセージの取り消しは完了です。


5. Line のグループ

1 対 1 のやりとりだけではなく何人もの人と同時にやりとりができ、会社の同僚同士で、グループトークや複数人トークで利用します。ホームタブの友だちからグループ作成を押して、グループに誘うメンバーを選択します。

(1)グループへ参加メンバーの招待

グループ作成したばかりは自分 1 人しかメンバーがいません。友だちを招待します。
友だちリストから招待したい人を選択し、招待してください。

①グループをタップ

②  マークをタップ



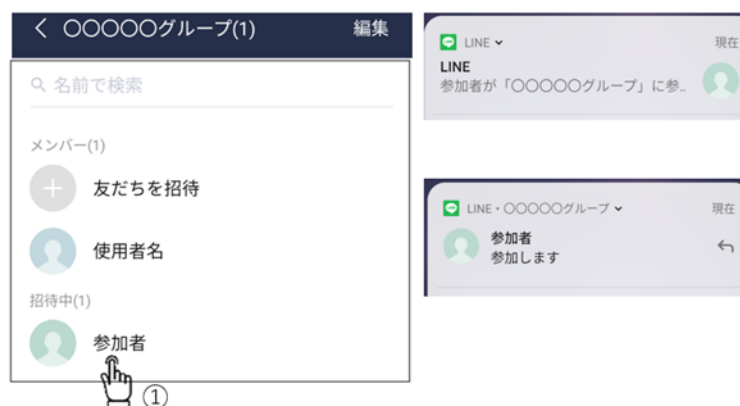
①「友だちを招待」をタップ

②「招待したい友だち」の
 をタップ



①招待した友だちに
「招待中」が表示

②スマートフォンに友だちが
承認すると表示



グループから招待されると、友だちにグループへの招待の案内が通知されます。

グループに参加すると、グループのトークルームに「〇〇が参加しました。」とメッセージが記載されます。

(2)グループトーク

- ①トークを始める
- ②入力フォームにテキストを入力
- ③コメント表示
- ④入力フォームを送信
- ⑤撮影して送信
- ⑥保存している画像・動画送信



「ノート」機能。トーク内の掲示板のようなもので、消えてしまっでは困る内容やグループ全員で共有したい情報などを、別書きとめておけます。

「アルバム」機能。アルバムに写真を保存すれば削除しない限り、いつまでも保存されます。

- ①招待した友だちを「グループ」に追加
- ②メッセージの入力
- ③紙飛行機マークをタップ
- ④メッセージの表示



- ①参加者からのメッセージ
- ②ファイルマークタップ
- ③投稿する写真を選択
- ④紙飛行機マークをタップ
- ⑤グループトーク画面に表示



(3) グループトークファイルの添付

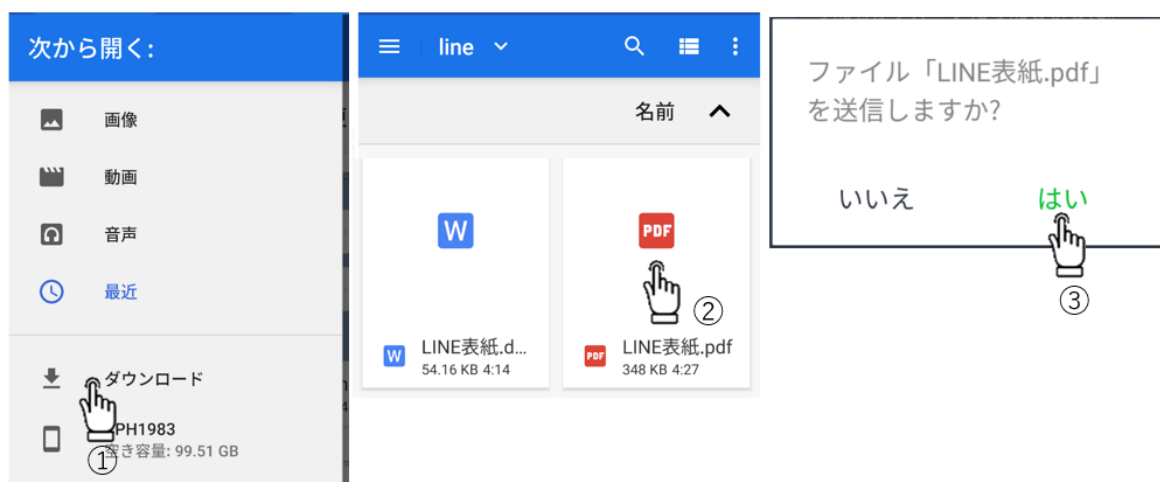
LINE のトークで写真や動画以外に PDF や Excel(エクセル)・Word(ワード)・ PowerPoint (パワーポイント)などのファイルが送れます。

ファイルを送る際に注意する点として容量が最大 1GB 以内であること、送信したファイルが閲覧できるのは送信後 7 日間です。それ以上の場合は、ダウンロードして、保存すること

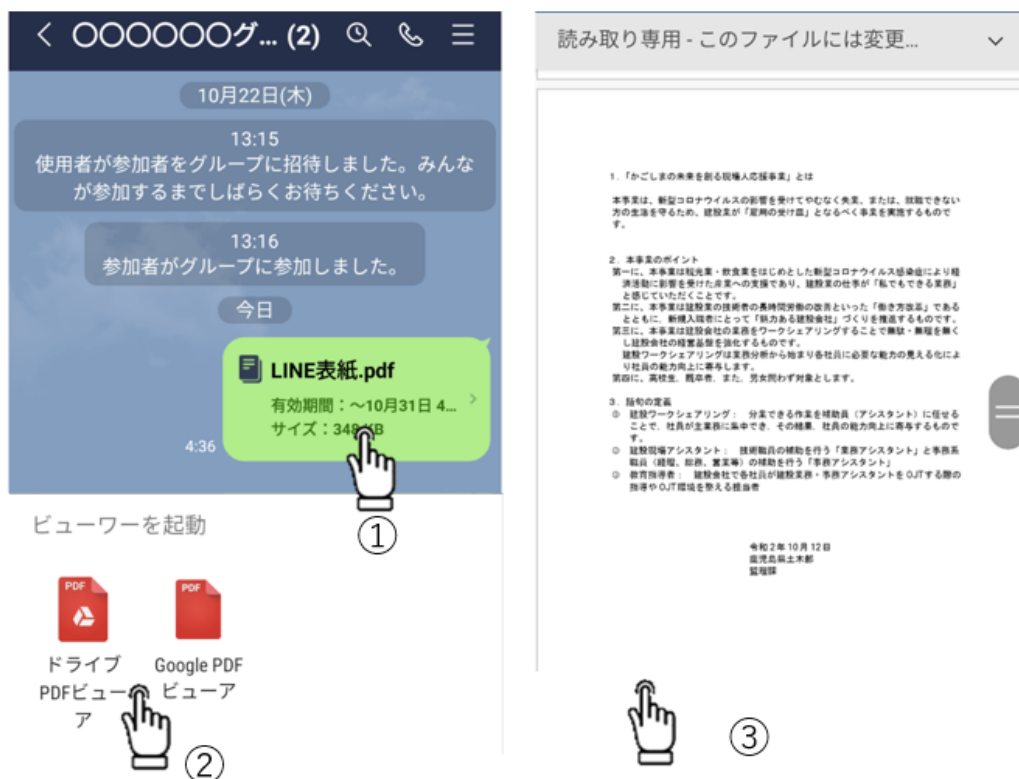
- ①グループ画面から下段の+マークをタップすると、
- ②添付できるフォルダー 一覧が表示されますので、「ファイル」タップします。
- ③上段の三本線の一覧表アイコンを指でタップします。



- ①「次から開く」にフォルダーの一覧が表示されますので、添付したいファイルが収まっているフォルダーを指でタップします。
- ②ファイルの一覧が表示されますので、添付したいファイルを指でタップします。
- ③すると、ファイルを送信しますかと聞いてくるので「はい」指でタップします。



- ①トーク画面に送信したファイルが表示されるので、タップすると。
- ②送信したファイルを展開するアプリの一覧が表示されるので、該当アプリをタップ
- ③添付されたファイルが開きます。



(4) オフィス系ファイルの場合

Android の場合はオフィス系のファイル(Word・Excel・PowerPoint)や PDF ファイルを受信しても閲覧する時には専用のビューワーが必要となります。

iPhone の場合は専用のビューワーがなくてもファイルの閲覧が可能です。ただし、ファイルによっては文字化けやレイアウトが正しく表示されない場合もあります。

- ① 表示のファイルをタップ
- ②実行可能なアプリがない場合は、コメントが表示されるので「確認」を指でタップ(指先で画面を1回叩く)します。
- ③実行可能なアプリのインストール画面が表示された場合は、該当するアプリをインストールする
- ④インストール後「開く」を指でタップ(指先で画面を1回叩く)します。



(5) グループへ友だち追加

友だちを追加する方法は、QR コード、LINE ID や電話番号などがあります。

QRコードを使った方法は、「ホーム」タブの右上に表示された「人マーク」をタップすると、友だち追加画面に切り替わります。

画面上部に4つの追加方法が表示されているので、中央のQRコードを選択してください。

初めてQRコード機能を利用するときに、カメラと写真へのアクセス許可が求められます。

1) 「QRコード」による Line 友達の追加

初めてQRコード機能を利用するときに、カメラと写真へのアクセス許可が求められます。

①「ホーム」タブの右上に表示された「人マーク」をタップすると、友だち追加画面に切り替わります。

②画面上部に追加方法が表示されているので、中央のQRコードをタップしてください。



[QRコードリーダー]で、追加したい友だちの[マイQRコード]を読み込む
相手のQRコードを読み込むと、その友だちが表示されますので[追加]をタップ。

①「マイQRコード」アイコンを タップ

②「自分のQRコード」が表示されます。 タップして保存し 友達に保存した
「マイQRコード」 ファイルをメール等で添付して登録したい友だちに送信

③共有ボタンをタップする

「送信先を選択」の画面が表示されるので、共有先として他のアプリを選択します。

共有メニューが開き、スマートフォンにインストールしているアプリが一覧で表示されます。メール (Gmail など) やメッセージ (SMS)、インスタグラム、ツイッター、Facebook などのアプリで QR コードを送ることができます。

2) 「電話番号」・「友達 ID」による Line 友達の追加

相手から LINE ID を教えてもらったのに検索できない (結果に表示されない) 場合、考えられる理由は主に2つ考えられます。

一つは、相手が「ID による友だち追加を許可」の設定をオフにしている場合。

二つ目は、相手が18歳未満のユーザー、もしくは年齢認証を済ませていない場合です。

6. 補 足

(1) 無料通話

LINE の通話は、電話回線ではなくモバイル通信(4G LTE など)や Wi-Fi によるインターネット経由でおこなわれます。

発信方法は「ホーム」タブから電話をかけたい友だちをタップし、無料通話を選択するだけで発信が開始されます。発信後は、通常の電話と同じです。

(2) LINE のプライバシー設定

LINE を安心して使い続けるためには、プライバシー設定を適切におこなうことが大切です。

1) 友だち自動追加

LINE では、多くの人とつながるために、端末のアドレス帳情報を利用した「友だち自動追加」機能が搭載されています。

2) LINE ID による友だち追加

LINE アカウントには、「LINE ID」が設定できます。

LINE における ID は識別番号のようなもので、友だちに自分の LINE ID を教え、ID 検索から自分のアカウントを特定・追加してもらうといった手順でおこないます。

LINE ID さえヒットすれば簡単に友だち追加ができて便利な反面、悪質な業者などにランダムに ID 検索をかけて悪用するケースもあります。

こうしたことから、LINE ID の検索は年齢確認済みの端末でしか利用できません。

安全に使いたいなら、LINE ID を設定しないという選択肢もあります。

すでに ID を設定済みでも、「ホーム」タブの設定ボタンからプライバシー設定へと進み、「ID による友だち追加の許可」をオフにしておけば、ID 検索で友だち追加されないようになります。

(3) 友だちのブロック

① 特定の友だち(アカウント)をブロック

特定の友だち(アカウント)と今後 LINE 上での関係を断つことができる機能が「ブロック」です。

ブロックしてしまえば、相手からメッセージが、届いたり通話がかかってくるのがなくなり、トラブルが避けられます。

※ロックされた側にはほとんど変化が起りません、友だち関係が悪化しないように LINE では、安易にブロックを勘付かれないシステムです。

② ブロックリストの確認と解除

自分がいま誰をブロックしているのかは、「ブロックリスト」を見ることで確認できます。

LINE ホーム画面の[歯車アイコン]→[友だち]→[ブロックリスト]の順にタップすることで、ブロックリストが表示されます。

ブロックリストからもブロックを解除することが可能です。

ブロックを解除したい友だちを選択し、[ブロック解除]をタップするだけです。

パソコン版 LINE (Windows) のインストール

7. パソコン版 LINE (Windows)

(1) Windows 版をダウンロードする

①パソコンのブラウザから LINE 公式サイトにアクセス。

<https://line.me/ja/download>

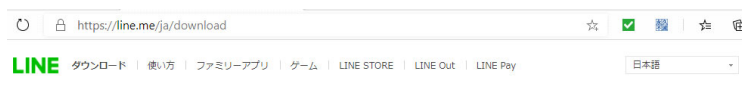
②[ダウンロード]>[Windows 版をダウンロード]をクリック。

PC 版 LINE からは LINE アカウントの新規作成ができない、かつては、パソコンと電話番号さえあれば PC 版 LINE 上でアカウントを新規作成して利用できましたが、2020 年 5 月に PC 版 LINE からの新規登録機能が提供終了しました。

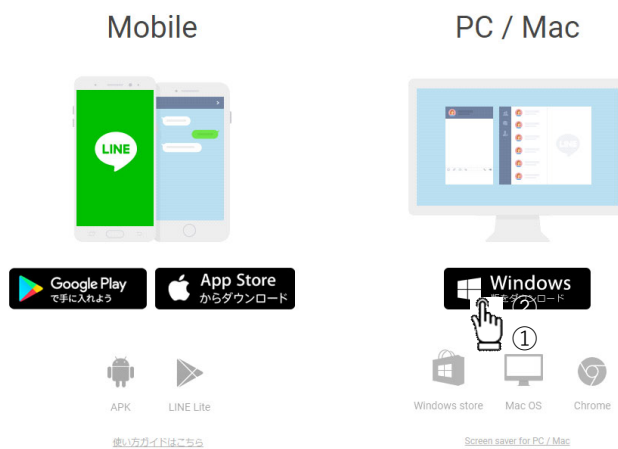
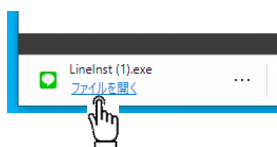
これに伴い、スマホ版 LINE、もしくは iPad/Android タブレットで LINE アカウントを作成してからでないと PC 版 LINE を利用できなくなってしまいました。

PC 版 LINE はあくまでサブ端末としての扱いなので、スマホ版 LINE や iPad 版 LINE と同じアカウントでログインしての使用が基本となります。

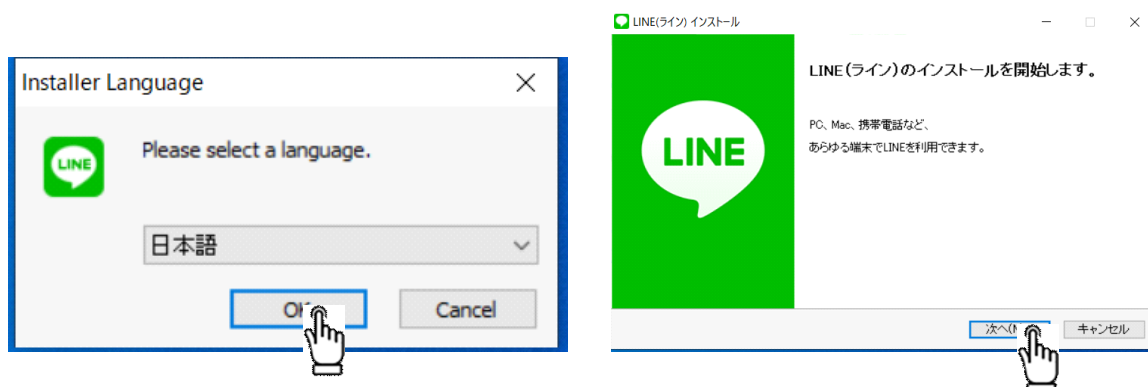
パソコン版LINE (Windows)



①パソコンのブラウザから
LINE公式サイトにアクセス。
<https://line.me/ja/download>



3. LINE のインストーラをダウンロードして、使用言語を選択してインストールを開始します



(2)PC 版 LINE のログイン方法

- ・「メールログイン」 → スマホ版 LINE に登録している メールアドレスとパスワードを入力
- ・「QR コードログイン」 → 右側に表示された QR コードを スマートフォン版 LINE で読み込む

「ログイン許可」設定をオフにしているとログインできない

「ログイン許可」設定とは、スマホ以外の PC/iPad 端末によるアカウントへのログインを阻止できる機能です。第三者からの LINE アカウント乗っ取りを防ぐには有効ですが、自分自身の端末でログインする場合はオフに切り替えなければなりません。

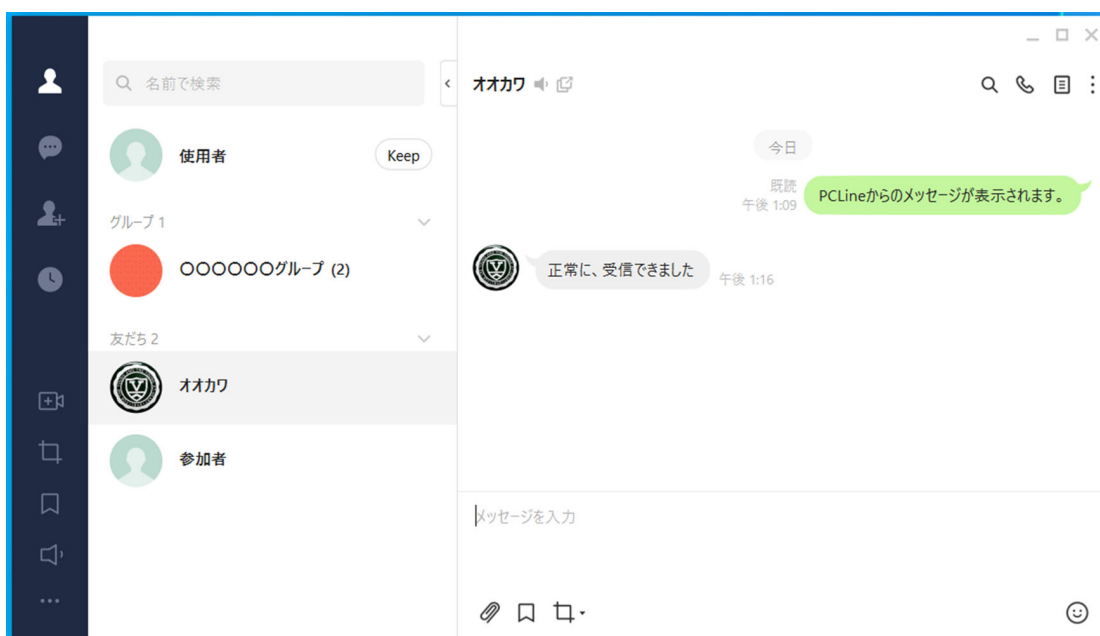
スマホ版 LINE アプリ「ホーム」タブから設定ボタン→アカウントと進み「ログイン許可」の項目をオンに切り替え、PC 版 LINE を立ち上げるとすぐにログイン画面が表示されるので、以下いずれかの方法でログインします。

なお、PC 版 LINE の初回ログイン時には「本人確認」をおこなう必要があります。

PC ログイン認証画面が表示されたら、スマホ版 LINE に表示された 4 桁もしくは 6 桁の認証番号を打ち込んで、

本人確認ボタンを押してください

パソコン版 LINE (Windows) のホーム画面



8. ビジネスチャット

ビジネスチャットは、この個人向けチャットに、メッセージの検索・タグ付けやスレッド表示、クラウドを介したファイル保存・共有などの機能を加えて、ビジネス利用向けに強化したものです。

(1) ビジネスチャットが共通して備えている基本機能

- ・登録した相手との1対1のテキストチャット
- ・登録した複数の人たちとのグループチャット
- ・チャットで交わされた内容のタグ付け、検索
- ・音声通話／ビデオ通話
- ・ファイルの保存・共有
- ・PC／スマホ／タブレットでの利用

(2) おもなビジネスチャット

・ slack

slack（スラック）チャットやSNSの経験のある人向け
個人／組織／プロジェクト／顧客別などで自由に「チャンネル」を設定し、
話題を整理しやすく、やり取りの検索や管理が簡単

・ Chatwork

Chatwork（チャットワーク）国産ツールでサポートが受けやすい
社外の人ともやり取りしやすいのが最大の特徴。
IDを知っている人なら、社内外を問わずすぐにやり取りができる

・ **LINE WORKS**

LINE WORKS（ラインワークス）「既読」機能が最大の特徴
既読・未読が確認でき、多くの人が使っている
誰にでも使ってもらいやすいという利点

・ Workplace

Workplace（ワークプレイス）社内組織を超えた人間関係が広がる
Facebookのビジネス版で、社員同士のつながりや拡がり重視した
コンセプトが最大の特徴

- 本書の内容は執筆時点での情報に基づいています。
- 本書の執筆で使用したOS環境はWindows10,Android 9です。なお、各ソフトウェアのバージョン、各Webサイトの更新状態、あるいは操作環境の相違などによって、本書の記載と異なることがあります。
- 本書に記載された内容による運用において、いかなる障害が生じても、著者、本書制作関係者は一切の責任を負いません。

※ 本文中に記載されている製品名などは各発売元または開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

<メモ>

建設業務・事務アシスタント講座

～建設業で役立つパソコン・デジタル研修～
デジタル対応研修

発行日 令和3年3月22日発行

作成者 「かごしまの未来を創る現場人応援事業」事務局

鹿児島県 土木部 監理課 入札・指導係

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1

TEL:099-286-3498 FAX:099-286-5617

監修 ヒロ T&T 株式会社

協力 建設マネジメント研究会

不許複製